

◎保健就学事務の経費

| | | | |
|------|---|-----|---|
| 就学事務 | 【 | 学務課 | 】 |
|------|---|-----|---|

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

学校教育:子どもたちの豊かな人間性や生きる力をはぐくめる教育が実現しているまち

【事業の目的】

対象 市立小・中学校の児童生徒等

意図 義務教育を的確に行うため。
経済的に困難な高校生に対して援助を行うため。

効果 適切な学校教育の実施を図る。

【事業の内容】

- (1) 就学事務
 - ・小中学校の通学区域等を定める。(平成20年度は学区審議会での審議なし)
- (2) 就学支援事業
 - ・高等学校奨学生に対して奨学金を給付した。
 - ・県や湘南地区の高等学校定時制、通信制の教育振興会への負担金の支出により支援を行った。

【事業費】

(単位:千円)

| 当初予算額 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------------------|--------|--------|--------|--------|
| 19,975 | 19,975 | 17,333 | | 2,642 |
| 主な支出内訳 | | | | |
| ・ 就学事務 | | | | |
| 学区審議会委員報酬 | | | | 0 |
| ・ 就学支援事業 | | | | |
| 湘南地区高等学校定時制教育振興会負担金 | | | | 126 |
| 奨学金 | | | | 17,040 |
| 給付月額 9,600円 | | | | |
| 給付人数 延1,775人(150人) | | | | |

平成21年度事務事業評価シート

| | | |
|---------------|--------------------------|--|
| 創意・工夫・課題等改善状況 | 課題・問題点 | <p>(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学事務については、各学校長、教頭の意見を聞きながら、連絡、連携方法に工夫を加えつつ、指定校変更、区域外就学等の就学事務の適切かつ迅速な対応を図る必要がある。 ・経済的な理由により高校への進学が困難な生徒への援助するため、一定の基準に従い奨学金を給付しているが、高校の形態も多様化してきており、本市の奨学金のあり方を検討していく必要がある。 |
| | 創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果 | <p>(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学事務については、校長会や教頭会等を利用し、指定校変更・区域外就学等の考え方を周知するとともに、各学校とは個々の申請についての情報の共有化し円滑な事務処理に努めた。特に、新1年生の就学に関しては、教頭会と綿密な意見交換を実施し円滑な事務処理を行った。 ・奨学金については、平成21年度からの給付額の引上げに着手し、予算の確保を図った。 |
| | 未解決の課題・問題点 | <p>(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様化する就学形態の高校への奨学金の扶助のあり方については、実情にあわせた対応が必要であり、制度の充実について検討している状況である。 |
| | 今後の方針 (対応・改善) | <p>(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学事務については、今後とも適切かつ迅速な対応を図るため、校長、教頭の意見も聞きながら、連絡、連携方法等、意思疎通の徹底と相互理解が得られるよう努めていく。 ・奨学金制度については、高校の形態、他市の状況等も考慮しながら、制度の充実に努めていく。 |

一次評価(課長評価)

| | | | |
|---------|--|---|--------|
| 今後の方向性 | A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 | A | 改善の必要性 |
| | 就学校の決定等、就学事務は学務担当の基幹事務であり、各学校との連絡を密にしながら円滑な事務を進め、内部事務については、学齢簿のシステム化や奨学金の給付事務など、事務改善が可能かどうか費用対効果を見極めながら、より効率的な事務を検討し、また、高校進学に伴う奨学金についても実情に即した制度の検討を行い充実を図っていく。 | | 有 |
| 担当課長氏名: | 学務課長 大澤 一則 | | |

二次評価(部長評価)

| | | | |
|--------|--|-----|--------|
| 今後の方向性 | A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 | A | 改善の必要性 |
| | 児童生徒の家庭状況も多様化し、指定校の変更などの就学事務、あるいは中学卒業後の進路も複雑化してきている中で、適切な対応が求められており、各学校との連絡調整を十分行う必要がある。限られた時間を効果的に使うため、より一層の事務処理の効率化と内容の充実が求められている。 | | 有 |
| 担当部名 | 教育総務部 | 部長名 | 宮田 茂昭 |